



◇秋季リーグ戦直前特集

1. リーグ戦に向けて!
2. 活動紹介 (6~8月)
3. リーグ戦日程

◇編集後記



KANSAI BASEBALL TEAM

1. 秋季リーグ戦に向けて! 主務 西 凌太 (商3・酒田南)

春季リーグ戦が5位に終わったことで、優勝するためにはまだまだ力が足りないと感じ、チームの課題もたくさん残りました。また、リーグ戦後、部員一人ひとりが練習の中で常に課題意識を持ちながら、日々練習に取り組んできました。

6月に行われた新人戦は、各大学ともリーグ戦に出場経験のある選手も多く出場しており、例年同様レベルの高い試合が展開されました。関大は惜しくも4位という結果に終わりましたが、1、2年生の中でも今後の活躍が期待される選手が新たに出てくるなど、上級生にとっても良い刺激となりました。そして迎えた8月、夏季オープン戦も終盤に差し掛かり、全員がレギュラーを獲得するために必死になって練習に励み、いよいよ秋季リーグ戦開幕を迎えることとなりました。

今季の注目選手は、主将としてチームを引っ張り、長打力が自慢の関大の主砲・小林龍(社4・神港学園)と春季ベストナイン賞を獲得した山田晃(文4・明德義塾)です。投手陣は昨季に大活躍を見せた寺本成(政策4・橋本)を筆頭に、頼れる右腕・秋本(文4・北陽)、近藤(商3・福知山成美)や、左腕・吉川(経3・履正社)、の好投手がいます。そして、捕手の矢野(商4・高知)がチームをまとめ、高月(法4・関西)が俊足を生かした活躍を見せてくれることでしょうか。4年生たちの活躍が優勝への鍵となります。ベンチもスタンドも147人全員が一丸となり、スローガンである「勝利への執着心」を持って戦い、藤田監督の指揮の下、必ず「奪首」を達成します。春より成長した関大野球部に注目してください! ご声援よろしくお祈いします。

主将の意気込み!

主将 小林 龍之介(社4・神港学園)

春は優勝目指して挑みましたが、あと少し、あと一点が取れず、悔しい結果に終わりました。その悔しさを胸に、厳しかったこの夏の練習を乗り越えてきました。

この秋は、関大らしい野球で、ベンチもスタンドも一丸となり、頂点を獲りたいです。応援よろしくお祈いします。



2. 活動紹介(6~8月)

第34回総合関関戦

関大、春の雪辱を晴らせず...



今回で34回目を迎えた伝統の総合関関戦。関大は、初回到福田一(法3・龍谷大平安)の中犠飛で先制し、先発・秋本が4回まで相手打線に得点の隙を与えず好投を見せましたが、5回に2本の長打を放たれ、同点に追いつかれてしまうと、7回には相手打線に捕まり、2点を追加され突き放されてしまいました。しかし、9回に関大は粘りを見せ、水野謙(商3・東海大仰星)の右犠飛で1点を返しましたが、後続を絶たれ、2-3で惜敗。春季リーグ戦の雪辱を晴らすことができず、悔しい結果となりました。今年度の総合関関戦は、総合成績13勝18敗で、関学の勝利で幕を閉じました。

新入生研修プログラム

伝統ある関大野球部の一員として！

昨年同様 4 月より関大野球部の部員となった 4 6 名の 1 年生を対象に 4 月 21 日から 6 月 9 日の間に計 7 回、新入生研修プログラムが行われました。このプログラムは、関西大学野球部員として習得しておかなくてはならない「礼儀やマナー」、「社会性、協調性」、「関西大学と野球部の歴史に関する知識」等の貴重な講演を、田尻顧問をはじめ、野球部OBの職員が講師となりました。今回は、研修プログラムを他クラブにも公開し、サッカー部やヨット部、レスリング部が参加しました。

この研修を通じて、関大野球部としてだけでなく、関大の体育会の一員としてどのような存在であるべきかを考えさせられました。さらに選手間でのディスカッション形式で今後の野球部の在り方について意見交換を行いました。それぞれの考えを発表することで、コミュニケーションの場にもなり、全ての研修を 1 年生は毎回真剣な表情で受けていました。関大生として、野球部員として、これから学生生活をしていく上で必要なことをたくさん学ぶことができました。野球部から模範となる行動を発信し、体育会の中心となれる人材がこの研修から生まれてくれることを願っています。野球以外にもこのような取り組みで個人の人間性の向上にこれからも努めていきます。関大野球部の伝統をこの先にも引き継いでいきたいです。



2 年生マネージャー 長谷川 夏未

☆選手談☆ 仲尾 淳志 (文1・上宮太子)

研修プログラムを通して、私たちが所属する体育会野球部の栄光の歴史を知ることができました。また、「体育会野球部」としての自覚を持たなければならないということを実感することが出来ました。研修プログラムは、たくさんの方のことを学ぶ良い機会でした。

これからは、研修プログラムで学んだことを心に留め、関西大学のフロントランナーとして、頑張っていきたいと思います。

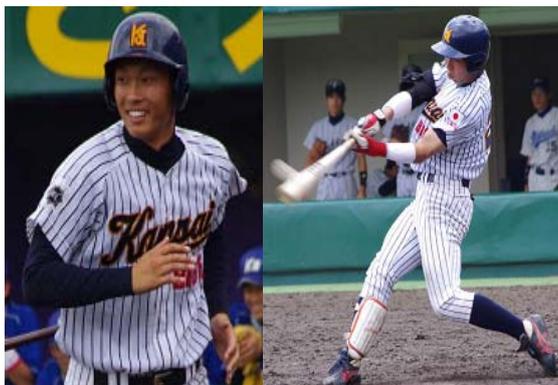


関西オールスター5リーグ対抗戦

関西学生野球連盟、3位に終わる

6 月 24 日から 26 日の 3 日間、関西地区の 5 リーグ対抗戦が行われました。関西学生野球連盟の初戦の相手は京滋大学野球連盟でした。関大からは山田晃が 2 番・センターとして先発出場、奥村 (文 3・大阪桐蔭)、小林龍、矢野、秋本も途中出場し、関大の選手全員が出場を果たし、奥村は右前安打を放つ活躍を見せましたが、京滋大学野球連盟には惜しくも 1-2 で敗戦してしまいました。

翌日の関西六大学野球連盟との 3 位・4 位決定戦では、初回到 1 点を先制し、その後得点を重ね、6-2 で勝利しました。この日も山田晃は先発出場し、4 打数 1 安打という結果でした。試合中のベンチの雰囲気は、他大学の選手達と声を掛け合うなどをして盛り上がりを見せていて、スタンドも関大野球部全員で応援に駆け付け、グラウンドの選手たちに大きな声援を送りました。優勝を逃し、非常に悔しい結果となりましたが、来年は優勝して、明治神宮大会関西予選のシード権を獲得できるよう、関西学生野球を盛り上げていきたいです。



☆選手談☆ 山田 晃平選手 (文4・明徳義塾)

5 リーグのメンバーに関大代表として選出してもらい、嬉しく光栄に思います。残念ながら優勝を逃してしまいましたが、他大学の選手達とレベルの高い中で野球をし、素晴らしい経験となりました。秋季リーグ戦では、良きライバルとして戦っていきます。そして、春に達成できなかったリーグ優勝を目指しチーム一丸となって頑張っていきます。ご声援よろしくお願ひします。

春季新人戦

関大、惜しくも4位!

6月28日(火) 1回戦 013-1 京都大学

初戦の京大戦は、初回の満塁の好機から、西郷(政策2・報徳学園)の右前適時打や林(商2・酒田南)の左犠飛により、2点を先制。続く2回にも藤嶋(人間1・神港学園)の左越適時二塁打、木村建(政策1・大阪桐蔭)の中前適時打により、3点を追加し京大を突き放した。3回に1点を返されるが、4回には四球と加納(文2・関大北陽)の左前適時打により、2点を追加。終盤の7回には一挙に5点を追加し、コールド勝ちで試合を決めた。



6月29日(水) 準決勝 ●2-9 近畿大学

先制を許し迎えた3回、西郷の右前適時打で1点を返し、同点とした。しかし5回に先発・山本(法1・北嵯峨)、二番手・坪内(人間2・育英)が近大打線につかまり、一挙4点を追加され勝ち越しを許した。6回に相手の失策により1点を返したが、その裏またも4点を追加され引き離されると、その後も関大は好機を掴むことが出来ず、決勝進出を逃した。



6月30日(木) 3位決定戦 ●3-4 同志社大学

初めに江原(人間1・履正社)が左中間三塁打で出塁し、相手の失策から1点を先制した。3回に2点を奪われ同大に逆転を許すものの、4回に藤嶋、堀野(人間2・岡山学芸館)の二塁打により逆転に成功した。しかし、5回に追いつかれ、7回には勝ち越しを許してしまい、そのまま関大は相手投手に抑えられ、接戦を制することができなかった。最終結果、4位で春季新人戦は幕を閉じた。



☆選手談☆ 優秀選手賞獲得・西郷 遼平(政策2・報徳学園)10打数5安打2打点の活躍!

今回の新人戦は2年生がチームを引っ張ることができた上に、1年生も多くの活躍を見せてくれました。皆のおかげで優秀選手賞を獲ることができました。とても嬉しいです。この結果で満足せず、リーグ戦でも結果を残せるような選手になれるよう日々頑張っていきます。

夏季オープン戦

阪神タイガースと対戦しました!



今季は阪神タイガース戦やBチームの試合も多く組まれ、計19試合のオープン戦を行いました。さらに、夏季オープン戦初戦から投打とも好調で、幸先の良いスタートをきることができました。

関大にとって初めてのプロとの試合となった阪神タイガース戦では、投手5人の継投でタイガース打線を4安打、3失点に抑えました。打線は繋がりを見せ、プロ相手に4点を奪い、接戦ながらも4-3で関大が勝利しました!タイガースの試合前の打撃練習やノックでも、レベルや意識の高さを実感し、とても良い刺激となりました。秋季リーグ戦優勝へ向けて、関大野球部は確実に力をつけています!

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計	H
関大	0	1	0	0	0	1	0	2	0	4	5
阪神	0	1	0	0	0	0	0	1	1	3	8



関大 【バッテリー】 寺本成、山本、近藤、秋本、吉川一矢野
【二塁打】 奥村

阪神 【バッテリー】 上園、岩本、白仁田、横山一原口、橋本
【二塁打】 藤井宏

淀川大清掃 ～河川敷をきれいに！～

8月7日（日）、関西大学の学生によるボランティア活動として、淀川河川敷清掃が行われました。野球部からは4年生が活動に参加しました。前日の淀川花火大会の影響もあり、河川敷にはたくさんのゴミが残されていました。就職活動に励んでいた4年生も含めて全員が集まり、炎天下の中、朝早くから昼までゴミ拾いをした選手たちは真っ黒に日焼けしていました。田尻顧問も参加してくださり、選手たちと一緒に汗を流しました。

清掃を行うことで河川敷をきれいすることができただけでなく、他の学生と触れ合うことができ、自分達の生活を見つめ直す良い機会となりました。今後も関大野球部は、このような社会貢献活動に積極的に参加してまいります。



関西大学体育会野球部 平成23年度秋季リーグ戦日程

9月	対戦相手
3 土	開会式（わかさスタジアム京都）10:00～ 近畿大学 1 回戦（わかさスタジアム京都）13:30～
4 日	近畿大学 2 回戦（わかさスタジアム京都）11:00～
5 月	3 回戦
9 金	関西学院大学 1 回戦（甲子園）13:00～
10 土	関西学院大学 2 回戦（甲子園）13:00～
11 日	3 回戦
24 土	同志社大学 1 回戦（ほっともっと 旧スカイマーク）13:00～
25 日	同志社大学 2 回戦（ほっともっと 旧スカイマーク）10:30～
26 月	3 回戦

10月	対戦相手
2 日	立命館大学 1 回戦（南港中央）12:30～
3 月	立命館大学 2 回戦（南港中央）10:00～
4 火	3 回戦
15 土	京都大学 1 回戦（皇子山）11:00～
16 日	京都大学 2 回戦（皇子山）13:30～
17 月	3 回戦
23 日	閉会式（わかさスタジアム京都）

熱いご声援よろしくお願いします!



編集後記

マネージャー 2年生 乾 有希

奪首×Dash 第7号はいかがでしたか?チームは春季の5位という悔しい結果に終わり、その悔しさをバネに、夏の暑さの中、厳しい練習を乗り越えてきました。4年生にとって最後のリーグ戦を「優勝」という最高の形で締めくくることができるよう、チーム一丸となって戦います。熱いご声援よろしくお願い致します。



ご意見・ご感想 大募集!

ご愛読ありがとうございました。今後の『奪首×Dash!』の編集に活かしていきたいと思っておりますので、同封している別紙のアンケート用紙をご記入の上、下記の送付先にFAX、または郵送していただければ幸いです!皆さまからのご意見やご感想をお待ちしております!



○送付先○

〒564-8680

大阪府吹田市山手町 3-3-35 関西大学新凱風館内

関西大学体育会野球部 宛

TEL: 06-6368-1111(4979) FAX: 06-6388-8214

E-mail: kwansai-univ_baseball@mopera.net

HP: http://www.kandai.ne.jp/~cl_baseball/